

## コリント人への手紙第二 第5章 17節

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

新しいという言葉が繰り返されます。誰もが引かれる言葉です。それまで、いままで体験したことのないことだから新しいのです。新しい季節の訪れが新緑に現れ、庭園の花々に現れています。特に今の季節に輝いているのは赤、白、黄色、ピンク、と数えきれないほどの色とりどりで咲き誇る薔薇です。豊香とともに愛でる者のところを新しくします。新しい季節を満喫させます。

みことばが明らかにするのは、人の新しさです。当の本人さえ気づかない新しさについて語ります。自分がなにかを工夫して新しくなるものではありません。新しく造られるからです。そして、古いものは過ぎ去ったといえます。これからは古くなることはない新しさです。そして、見なさいといわれます。何を見るかといえは、新しくされた自分が、新しくなった出来事を見るのです。

新しくされた自分、新しくなりましたと言われる自分をどこから見ることができるでしょうか。みことばは、「だれでもキリストのうちになるなら」と語ります。キリストに在って見る自分こそ、新しく造られた者です。